

運転代行 / フロント

マロクマ

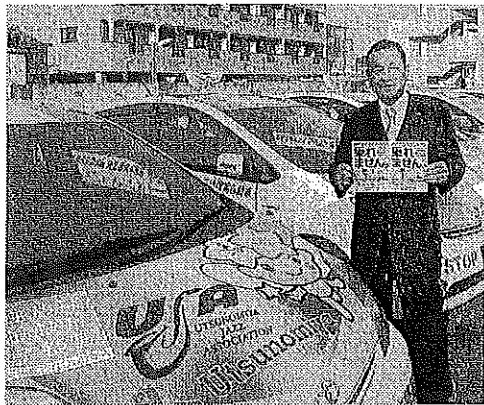
⑫

ギョーザ、カクテル、ジャズ 随伴車をラッピングし、街おこしの街をPRする宇都宮市。同市しに「役買っている。飲食業界の東武代行(板橋勇二社長は、この連携を深め、飲酒運転根絶り。白手袋をし、社名入りプレート

ラッピング車で街おこし

飲食業界と連携・啓発も

ラッピング随伴車はすべてトヨタ・プリウス。同乗禁止のチラシを手にする板橋社長



東武代行 (宇都宮市)

や事業の適正化に活発に取り組んでいる。 栃木県の飲食店団体を通じ、ギョーザなどのロゴの使用許可を得てラッピング車を1年前に製作した。ギョーザ号、カクテル号、ジャズ号を各2台。市のマスコットキャラクターをボンネットにデザインし、宣伝効果が抜群という。

「飲食店関係者から感謝されているが、板橋社長は「利用客に対する運転代行の適正利用を」こちらもお願いしており、お互い「さま」としている。

「運転代行事業について「運転技術と接客でとても神経を使う仕事。見合った給与を払わなければ人は集まらない。重労働であることを利用客、国にわかってもらいたい」と、コストに見合った最低料金規制の必要を唱える。

「運転代行を営むなら、行政とのパイプがある協会(全運協)に加入し、中身が濃くなるようにしてほしい」と訴える。

「グレーなイメージの業界を力になってほしい」と訴える。